

9月5日(木) 9:30～13:30 **野外講座**

夫婦岩「大注連縄張神事」見学

二見の夫婦岩は沖合約700mにある興玉神石で、日の出を遥拝する鳥居とみなされており、注連縄が張られています。その大注連縄は年に3回架け替えられます。長さ35m、重さ40キロ、太さ10cmという大きなもの。朝から神職や奉仕の人たちが古い注連縄を取り外し、祭典の後、5本の注連縄が手渡して運ばれます。あの神聖な注連縄に触れ、張替の様子が見られるまたとない機会です。昼食は中華レストランでお洒落なランチを楽しみ、時間があれば佐見都日女を祀る内宮の摂社・堅田神社も訪れます。

参加費 **会員** **3,900円** **ビジター** **4,400円** (食事代・保険料含む)
集合場所 **興玉神社鳥居前** **集合時間** **9時25分** **定員** **15名**



9月17日(火) 13:30～15:00 **企画講座**

神道の装いと作法 ～狩衣の着用と玉串拝礼の体験～

平安装束に由来を持つ「狩衣」の着用や、神前での「玉串拝礼」などを通じて、神道を体験的に学びます。狩衣は、元々は鷹狩りに際して用いられた衣で、貴族の日常着ともなりました。公家が身に着けている姿や神社の神職が「坊しゃく」を持った姿をイメージする方も多いのではないのでしょうか。玉串拝礼は、玉串を捧げて神前で拝礼することです。講座では玉串を製作して、参拝の作法を皆様に体験していただきます。



参加費 **会員** **1,050円** **ビジター** **1,550円** (辯代含む)
講師 **新田 恵三** 皇学館大学 文学部神道学科 助手

9月19日(木) 13:30～15:00 **企画講座**

遷宮と神嘗祭

伊勢神宮では10月の神嘗祭は最も重要なお祭りとしてされています。稲は瓊瓊杵尊が降臨される際に天照大御神より民の食にせよと寄托されたものでいただいたのではないので、新穀が出来たら報告する祭典が「神嘗祭」なのだそうです。最上の御饗を用意し、御装束や祭器具も新しくして最大限の感謝を表します。この神嘗祭の大規模なものが「遷宮」と言われています。あと9年で63回目のご遷宮、来年には山口祭、御杵始祭も行われます。これからは神様と共に歩む9年になりそうです。

参加費 **会員** **900円** **ビジター** **1,400円**
講師 **千種 清美** 文筆家・皇学館大学 非常勤講師

9月20日(金) 13:30～15:00 **企画講座**

人は何故招き猫に惹かれるのか

招き猫が出現したのは江戸時代からです。そもそも何故猫が縁起物になったのでしょうか？おかけ横丁の「来る福招き猫まつり」は日本ではじめての招き猫のおまつりで、この成功が評判を呼び招き猫がメジャーな存在となったといっても過言ではないのです。今から30年ほど前に猫まつりを仕掛けた中西さんに、招き猫の由来、開催までの数々のエピソード、手や色による御利益の違いなどお伺いします。今や海外でもラッキーアイテムとして人気の招き猫、もっとよく知りましょう。

参加費 **会員** **900円** **ビジター** **1,400円**
講師 **中西 与志嗣** 笑顔元気塾 主宰



9月30日(月) 13:30～15:00 **企画講座**

「伊勢神宮 御厨・御園めぐり」その2

御厨・御園は伊勢神宮の神饗や経営資源などを供給する土地のことで、中世には全国40ヶ国に計600ヶ所以上存在しました。今回は神宮のお膝元、伊勢市御園町から大湊にかけて存在した「大塩屋御園」に関する古文書を読みましたが、今回は少し離れた北伊勢、いなべ市大安町に存在した「石樽御厨」に関する古文書を読んでみようと思います。中世の古文書を読めるようになりたいと思っている方、大歓迎です！！

参加費 **会員** **900円** **ビジター** **1,400円**
講師 **岡野 友彦** 皇学館大学 文学部長

10月2日(水) 7:40～16:50 **野外講座**

熊野探訪

熊野地方には多くの巨岩が存在しますが、実物を見ながら解説を聞きたいのご要望が多かったので企画しました。巨岩の代表格は花の窟、高さ45mで、伊弉冉尊の墓といわれています。古代より里人が花で祀ったそうで、今回は県の無形文化財の花の窟神社大祭に参加して170mに及ぶ大綱を曳きます。森生さんも窟に関して興味がお有りだそうでその成立や形状から推測されることなどお伺いします。昼食の後は鬼ヶ城に行き1400万年前のカルデラ噴火の物語を解説していただきます。 ※海岸や岩場を歩く為、歩きやすい服装でお越しください。

参加費 **会員** **14,000円** **ビジター** **14,500円** (バス代・食事代・保険料含む)
講師 **森 勇一** 三重県環境影響評価委員・東海シニア自然大学 講師
集合場所 **五十鈴川駅** **集合時間** **7時35分** **定員** **15名**

10月8日(火) 13:00～15:30 **体験講座**

初めての花結び ～袷袷結びのペンダント～

今回は袷袷結びに挑戦です。袷袷結びとは、僧侶が身につける袷袷の装飾として垂らす組み房（修多羅）の結び方の一部のモチーフで、本数や紐の間隔のとり方で大きさも印象も変わります。4色の紐から好きな色を選び、金糸銀糸の紐と組み合わせると可愛いペンダントに仕上げます。 ※ピンセット、まち針、縫い針、縫い糸（どんな糸でも可）をお持ちください。 ※材料準備の都合により、9/30に申し込みを締め切ります。お早めにお申し込みください。

参加費 **会員** **2,800円** **ビジター** **3,300円** (材料費含む)
講師 **川本 美香子** 花結び同好会 主宰・花結び作家 **定員** **15名**



10月9日(水) 13:30～15:00 **企画講座**

大神都聖地計画とは ～昭和戦前期の伊勢が夢見た壮大な構想～

今ではほとんど知られていませんが、昭和の戦前期に、伊勢神宮ご鎮座の伊勢（当時は宇治山田と呼称）を世界に誇る「聖地」にして、神宮を中心とした「大神都」を建設しようという夢のような計画がありました。当時の宇治山田市が提案した「大神都聖地計画」は、これを国営で行うことを要望する壮大な構想でした。果たしてそれはどういうものだったか、虚実を選び分けながら各種史料を使って解き明かしていただきます。

参加費 **会員** **900円** **ビジター** **1,400円**
講師 **田浦 雅徳** 皇学館大学 名誉教授



伊勢市立図書館ふるさと文庫所蔵

10月15日(火) 18:00～20:30 **特別講座**

伊勢神宮と月の神

古事記では伊弉弉岐命が左目を洗って天照大御神、右目を洗って月読命、鼻を洗って須佐之男命が生まれたと伝えられています。しかしその後の記紀神話には、月読命（月夜見尊）は天照大御神や須佐之男命に比べほとんど登場しません。一方中世になると、日神を祀る内宮に対して、外宮のご祭神を月神とする考え方が表れます。伊勢神宮における月の信仰のあれこれを、皆様と十三夜の月を眺めながらお話できればと思います。

参加費 **会員** **5,400円** **ビジター** **5,900円** (月見膳・お菓子・抹茶代含む)
講師 **岡野 友彦** 皇学館大学 文学部長
集合場所 **すし久** **集合時間** **17時55分** **開催場所** **杉風荘**



10月16日(水) 18:30～20:30 **企画講座**

「替紅葉賀香(かえもみじがこう)」を楽しむ

「もの思ふに立ち舞ふべくもあらぬ身の袖うちふりし心知りきや」～あなたを思うもの思いゆえに、立って舞うこともできそうにない私が袖振って舞った気持ちを察してくださいましたか～ この歌は「源氏物語」の第7帖「紅葉賀」で光源氏が秘かに思いを寄せていた藤壺に贈ったものです。その様子を香組にしたものが「紅葉賀香」。香組は「紅葉」（伽羅きさら）「菊」（佐普羅きさら）「舞」（羅国らこく）秋の夜半、雅な世界を香りで楽しんでみませんか？

参加費 **会員** **5,400円** **ビジター** **5,900円** (香錠料・食事代・菓子代含む)
講師 **東 堯霞** 香道御家流三條西宗家 直門師範



10月17日(木) 13:30～15:00 **企画講座**

王朝気分を楽しむ ～紫式部日記絵巻～

『源氏物語』の作者、紫式部の日記は中宮彰子（藤原道長の娘）に仕えた日々が知られる貴重な記録です。「紫式部日記絵巻」は鎌倉初期にその日記を絵巻にしたもの。式部をはじめ大河ドラマに登場する人物などが描かれ大変興味深いです。この絵巻を手掛かりに平安中期以来、貴族に鑑賞された絵巻物の役割や魅力を紐解きます。参加者には「紫式部日記絵巻」（モノクロ複製）を手に取り、王朝サロン気分を味わう体験も。小さな画面に込められた豊かな世界に心遊ばせましょう。

参加費 **会員** **950円** **ビジター** **1,450円**
講師 **岡野 智子** 細見美術館 上席研究員



10月26日(土) 11:00～14:00 **特別講座**

相可高校&明野高校コラボ企画「地産地消を楽しむ」

皆さんは「伊勢あかりのぼーく」をご存じでしょうか？明野高等学校・生産科学科の生徒の皆さんが丹精込めて育て、ブランド化した豚肉です。今回は明野高等学校・生産科学科の活動や努力についてのお話を伺った後、その豚肉を使って相可高等学校・食物調理科の皆さんに調理をしていただく地元三重県を元気づける高校生の『夢のコラボ講座』を企画しました。もちろん西岡先生から豚肉の栄養や効能、料理についてのお話もお伺いします。若者たちの頑張りを応援しましょう。

参加費 **会員** **4,000円** **ビジター** **4,500円** (食事代含む)
講師 **西岡 宏起** 相可高等学校 食物調理科 専門調理師・教諭

10月29日(火) 13:30～15:00 **企画講座**

伊勢神宮の何故 その2

この講座では多岐に及んでいる神宮の祭祀と歴史について解説してきましたが、前回から「伊勢神宮の何故」と題して皆さんが普段疑問に思っておられることを文献的に典拠資料を明示しながらシリーズで謎の解明に迫ることにしました。今回は五十鈴塾に照会があった

- ① 全ての祭典に物忌は奉仕しないがその基準は？
- ② 童男童女も内宮と外宮で人数が違うのはなぜ？
- ③ 神宮祭主のご奉仕の基準は？ などについてです。

これからも皆様からの質問に真摯に回答できるようにしたいと思います。

参加費 **会員** **900円** **ビジター** **1,400円**
講師 **音羽 悟** 神宮司庁 広報室次長

10月30日(水) 13:30～15:00 **企画講座**

睡眠を科学する ～眠りを制するものが人生を制する～

皆さん、毎日の眠りは大丈夫ですか？科学が進歩してもまだまだ解明されないことが多いのが睡眠です。毎日眠っているのに知らないことばかりです。知らないから、夜が来て眠り、朝に目覚める。「なかなか眠れない人」「いつでもどこでも眠れる人」「また夜中に目覚めてしまう人」「寝たのに朝起きたら疲れている人」と様々。誰も教えてくれないのが眠りなのです。身近な眠りの話から、睡眠学に基づいた眠りまで、プロから見た睡眠を分かりやすく解説してまいります。

参加費 **会員** **900円** **ビジター** **1,400円**
講師 **平松 隆太** 眠り屋ヒラマツ 四代目店主

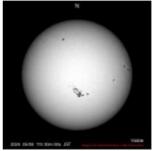


11月6日(水) 18:30～20:30 **企画講座**

秋の星見と活動期の太陽

秋の空は透明度が高く、星の輝きが美しく感じられます。一等星こそ少ないですが、今シーズンは土星が良いアクセントになっています。土星の環は来年3月に15年ぶりにほとんど見えなくなりますので、その直前の細い状態を望遠鏡で見たいと思います。また太陽の活動はおよそ11年周期で変化し、今最盛期を迎えています。黒点が増え、フレアなどの太陽表面での爆発現象が起り、日本でも北の空に赤いオーロラが見えたりしています。講座では、私たちの一番身近な恒星、太陽と私たちの繋がりを考えたいと思います。

参加費 **会員** **1,200円** **ビジター** **1,700円** (五十鈴茶屋製の和菓子付)
講師 **野田 学** 名古屋科学館 学芸員・博士(理学)



太陽の黒点

11月7日(木) 13:30～15:00 **企画講座**

伊勢商人 長谷川治郎兵衛家 ～江戸店持ち商人の歴史～

松阪出身の木綿商・長谷川治郎兵衛家は、延宝3年(1675)に江戸の大伝馬町で創業し、最盛期には同町に木綿問屋を5店舗、平坂(愛知県西尾市)に木綿仕入店を構えるほどの有力な商人でした。現在、長谷川家には、その繁栄の証を今に伝える貴重な資料が約87000点伝わっています。今回は、長谷川家に伝わる様々な資料から、同家の商業活動や歴代当主の趣味教養といった文芸活動をご紹介します。

参加費 **会員** **950円** **ビジター** **1,450円**
講師 **扇野 耕多** 特定非営利活動法人 松阪歴史文化舎 学芸員



11月11日(月) 13:30～15:00 **企画講座**

倭姫命の「神国」巡行

第十一代垂仁天皇の皇女倭姫命は、天照大御神の御鎮座地を求めて巡行されました。『倭姫命世記』によると、五十鈴川のほとりへと至られる前に、「神国」（のちの度会・多気・飯野郡）各地を巡られ、のちに内宮の別宮や摂社と位置付けられる神社をさだめられています。本講座では「神国」におけるその御足跡を追い、そこから新たな歴史的事実を読み取ることができないものか、皆さんとともに考察してみたいと思います。

参加費 **会員** **900円** **ビジター** **1,400円**
講師 **多田 實道** 皇学館大学 文学部教授・書洞宗神照山廣泰寺 住職・博士(文学)

11月13日(水) 10:00～12:00 **野外講座**

宇治の町巡り

大昔から神宮と深い関係のあった宇治の町、そこここに歴史を物語るものがあります。宇治で生まれ育った山中先生と巡りながら昔の姿をしのんでみる企画です。まずは町の入口であった宇治惣門跡にまいります。猿田彦神社から御幸道路を内宮方面へ、慶光院墓所、守武墓所に参加してから内宮の方へと神宮の饗土橋姫神社をはじめとする摂社末社があります。おはらい町に入り、「こんなものあったっけ、これってそうなの」と驚く遺跡や建造物を先生の丁寧な解説を聞きながら再発見していきます。

参加費 **会員** **1,700円** **ビジター** **2,200円** (保険料含む)
講師 **山中 一孝** 豆腐庵山中 代表取締役 **集合場所** **五十鈴塾**

11月14日(木) 13:30～15:00 **企画講座**

龍のすみか

辰年にちなんだ龍のお話です。干支の中で唯一空想の生き物、その原型は中国にあり水を司り皇帝の象徴でした。龍の形や観念は弥生時代にもたらされ ①王権の象徴 ②仏法の守護者 ③水神 という性格を引き継いでいます。9世紀には室生寺「竜穴」の記録が現れ、雨乞い信仰が行われるようになります。龍神信仰は各地に現れ、九頭竜、八大龍王、五頭竜、青、赤、白、黒、黄、金竜など枚挙にいとまがないほどです。日本の龍、龍宮、宝蔵について伺いながら龍の人気を探りましょう。

参加費 **会員** **1,200円** **ビジター** **1,700円**
講師 **西山 克** 京都教育大学 名誉教授



9月25日(水)・10月23日(水)・11月27日(水)10:00～12:00 **企画講座**

楽しい俳句

わずか17文字にいろいろなことを詠みこむ俳句。難しいことをいえば貴族社会で楽しまれていた和歌に始まり連歌、俳諧となり、芭蕉が芸術にまで高めた究極の短詩です。これを生み出したのが日本人であることは世界に誇るべきことです。日本語のリズムは知らず知らずに5・7・5になっているといわれます。つまり誰もが俳句を作る下地は持っているのです。いまや世界の人が作る俳句、一度ぜひ作ってみてください。石井先生がわかりやすくノウハウを教えてください。

参加費 (各回) **会員** **1,600円** **ビジター** **2,100円**
講師 **石井 いさお** 煌星俳句会 主宰